

顔が見える連携から気持ちのわかる連携へ  
～院外連携を再考する～

**日時** 2021年 10月 26日 (火) 18:00～19:00

**会場** ご自宅や病院、診療所などから、  
ご視聴いただきますようご案内申し上げます。

《座長》 18:00～18:05

倉敷中央病院リバーサイド 事務長 十河 浩史 氏

《講演 I》 18:05～18:25

薬剤師による地域連携とその意義

トマト薬局 岡山エリア責任者

石元 秀和 氏

《講演 II》 18:25～18:45

地域医療連携室での取り組みに関する報告と今考えること  
～円滑で思いやりある院外連携の実現のために～

日本赤十字社 医療事業推進本部 経営企画部 財務課 主事

前 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 患者支援センター 地域医療連携室 主事

工藤 拓哉 氏

《ディスカッション》 18:45～19:00

Web講演会の視聴方法は別紙をご覧ください。

ご視聴にはMedical Libraryの会員登録が必要ですが、会員登録できるご職種は医師・薬剤師・看護師のみとなります。  
上記以外の医療機関にご所属の方は、弊社MRまでご連絡ください。

# SUMMARY

[講演要旨]

## 顔が見える連携から気持ちのわかる連携へ ～院外連携を再考する～

《講演Ⅰ》

### 薬剤師による地域連携とその意義

トマト薬局 岡山エリア責任者 石元 秀和 氏



2021年8月1日から、特定の機能を有する薬局として地域連携薬局及び専門医療機関連携薬局の認定制度が開始されるなど、今、我々薬局薬剤師にとって「連携」は地域医療に携わる上で重要な業務となっています。当薬局は、在宅医療に特化した薬局として、これまで多職種との連携を積極的に行ってまいりました。今回は実際の事例やデータから、薬剤師による地域連携の意義について考えたいと思います。

《講演Ⅱ》

### 地域医療連携室での取り組みに関する報告と今考えること ～円滑で思いやりある院外連携の実現のために～

日本赤十字社 医療事業推進本部 経営企画部 財務課 主事

前 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 患者支援センター 地域医療連携室 主事

工藤 拓哉 氏



2005年に地域医療支援病院に認可された日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院（旧称：名古屋第二赤十字病院）において、主に前方連携を担う地域医療連携室に5年間従事しました。コロナ感染拡大等により医療を取り巻く環境が変化する中、高度急性期病院として地域のニーズ・気持ちに応えるために、外来初診事前予約の方法の利便性向上や院外連携のための院内体制の強化など様々な取り組みを行いました。その内容や取り組みを通じて感じたこと、また地域医療連携を離れて今考えることについて報告します。

# 医療関係者向けサイト **MedicalLibrary** のご案内

ご登録いただくと、診療に役立つさまざまなコンテンツをご覧いただけます。

まずは

Medical Library

検索



新規会員登録はこちらから

ログインはこちらから

## Medical Library ログイン方法

登録したメールアドレスと  
パスワードでログイン

または

m3.com会員の  
医師の方のみm3.comの  
アカウントでログイン



## [Web講演会の視聴方法]



登録したメールアドレス、パスワードで  
ログインし、右上にある「Web講演会」  
をクリックしてください。



スマートフォンサイト  
会員登録のご案内  
はこちら



第一三共株式会社